

令和6年度(2024)大学院薬学研究科博士課程・博士後期課程 (10月入学) 学生募集要項 〈抜粋〉

1. アドミッション・ポリシー

■博士課程 薬学専攻

薬学専攻では、生命科学に関心を持ち、高い倫理観と責任感をもって臨床に根ざした先端的研究能力を有する臨床薬剤師を志望する者、高度な職能を持つ専門薬剤師を志望する者、そして医療薬学研究者を志望する者で、未知の課題に対し自立して研究を遂行し国際的に通用する pharmacist-scientist を目指すと同時に、後進を指導する能力を有する医療系薬学教育者への能力を修得しようとする意欲のある次のような人を求めています。

●求める人物像

(知識・技能, 関心・意欲)

薬学部で習得すべき基礎的かつ広範な知識や技能及び教養を有する人

薬剤師免許を有する人、もしくは取得する可能性のある人

生命科学を主体とする薬学に関わる広範な領域に強い関心と、医薬品の適正使用及び薬物治療の安全性確保に貢献する意欲を持ち、自ら未踏分野を開拓しようとする姿勢・態度を有する人

(思考力・判断力・表現力等の能力)

薬物療法の専門家として、習得した知識・技能を基盤に、思考を深化、展開し、科学的根拠に基づいて未知の課題に対して適切な解法を立案できる素養を有する人

自分が伝えたいことを適切かつ簡潔に、相手の視点に立って表現できる人

(主体性を持って様々な人々と協働して学ぶ態度)

薬物療法の専門家として、他職種の人と協働でき、活躍できる素養を有する人

チーム医療を推進できる協調性を有する人

●入学者選抜の基本方針

一般選抜

出願書類により知識・技能, 関心・意欲を評価します。個別学力検査では、生命科学分野に関する設問に筆答させることで、思考力・表現力・判断力を評価します。口頭試問では出願書類に基づいた研究発表を実施し、思考力, 判断力, 表現力および態度を評価します。これらの結果を総合して判定します。

社会人特別選抜

出願書類により知識・技能, 関心・意欲を評価します。個別学力検査では、生命科学分野に関する設問に筆答させることで、思考力・表現力・判断力を評価します。口頭試問では出願書類に基づいた研究発表を実施し、思考力, 判断力, 表現力および態度を評価します。これらの結果を総合して判定します。

外国人留学生特別選抜

出願書類により知識・技能，関心・意欲を評価します。個別学力検査では，生命科学分野に関する設問に筆答させることで，思考力・表現力・判断力を評価します。口頭試問では出願書類に基づいた研究発表を実施し，思考力，判断力，表現力および態度を評価します。これらの結果を総合して判定します。

統合医療学際教育英語プログラム私費外国人留学生特別選抜

本プログラムでは 21 世紀における世界的課題である人間環境，栄養，保健，医療の分野における諸問題に対応できるように，世界の各国で活躍できる教育・研究者及び行政の専門家を育成することを目的として，医学，栄養学，保健学，歯学，薬学に関する講義・実習・セミナーを全て英語で行います。入学選抜は，提出された書類に基づき行います。

■博士後期課程 創薬科学専攻

創薬科学専攻では，博士前期課程創薬科学専攻の方針に加え，創薬・製薬に関する未知の課題に対し自立して研究を遂行し，世界に向けて成果を発表するとともに後進を指導する能力を有する者の育成を目指しています。

●求める人物像

(知識・技能，関心・意欲)

創薬・製薬研究に関わる未知の課題を解決するために必要な，薬学の広範な知識・技能を有する人

創薬・製薬研究に関わる広範な領域に強い関心とそれらの学びに対する意欲があり，独創的な研究を推進し，これを通じて創薬・製薬研究の発展に貢献しようとする姿勢・態度を有する人

(思考力・判断力・表現力等の能力)

創薬・製薬研究の専門家として，修得した専門知識及び教養を基盤に思考を深化，展開し，科学的根拠に基づいて未知の課題に対して適切な解法を見いだせる素養を有する人

自分が伝えたいことを適切かつ簡潔に，相手の視点に立って表現できる人

(主体性を持って様々な人々と協働して学ぶ態度)

創薬・製薬研究の専門家として，他分野の人と協働でき，活躍できる素養を有する人

●入学者選抜の基本方針

一般選抜

出願書類により知識・技能，関心・意欲を評価します。個別学力検査では，生命科学分野に関する設問に筆答させることで，思考力・表現力・判断力を評価します。口頭試問では出願書類に基づいた研究発表を実施し，思考力，判断力，表現力および態度を評価します。これらの結果を総合して判定します。

社会人特別選抜

出願書類により知識・技能，関心・意欲を評価します。個別学力検査では，生命科学分野に関する設問に筆答させることで，思考力・表現力・判断力を評価します。口頭試問では出願書類に基づいた研究発表を実施し，思考力，判断力，表現力および態度を評価します。これらの結果を総合して判定します。

外国人留学生特別選抜

出願書類により知識・技能，関心・意欲を評価します。個別学力検査では，生命科学分野に関する設問に筆答させることで，思考力・表現力・判断力を評価します。口頭試問では出願書類に基づいた研究発表を実施し，思考力，判断力，表現力および態度を評価します。これらの結果を総合して判定します。

統合医療学際教育英語プログラム私費外国人留学生特別選抜

本プログラムでは 21 世紀における世界的課題である人間環境，栄養，保健，医療の分野における諸問題に対応できるように，世界の各国で活躍できる教育・研究者及び行政の専門家を育成することを目的として，医学，栄養学，保健学，歯学，薬学に関する講義・実習・セミナーを全て英語で行います。入学選抜は，提出された書類に基づき行います。

2. 募集人員

専攻	入試区分	一般選抜	社会人特別選抜	外国人特別選抜
	薬学専攻		若干名	若干名
創薬科学専攻		若干名	若干名	若干名

3. 出願期間

令和 6(2024)年 6 月 18 日 (火) から令和 6(2024)年 6 月 20 日 (木) 17 時まで

4. 試験日程

年 月 日	時 間	試験科目等	
令和 6(2024)年 7 月 13 日 (土)	9 : 00~10 : 00	英 語	英和辞書貸与
	10 : 30~	口頭試問	研究発表と質疑応答等

5. 合格者発表

令和 6(2024)年 8 月 1 日 (木) 9 時

6. 個別の出願資格認定の場合の書類提出期間

令和 6(2024)年 5 月 20 日 (月) から令和 6(2024)年 5 月 22 日 (水) 17 時まで

徳島大学大学院
薬学研究科概要

■ 分野の研究概要 (令和6年5月現在)

薬学専攻博士課程

薬物治療学分野 (教授 金沢 貴憲)

kanazawa@tokushima-u.ac.jp 088 - 633 - 7466

- 1) 脳内特定疾患領域を標的とする Nose-to-Brain 型 RNA ナノ治療薬の開発
- 2) 糖尿病根治に向けた膵β細胞再生を誘導する膵島集積型 RNA ナノ治療薬の開発
- 3) RNA ナノ治療薬の適正使用のための製剤化技術の開発と品質評価に関する研究
- 4) 新規脳神経疾患治療の開拓に向けた細胞由来ナノ材料の生体機能評価に関する研究

医薬品情報学分野 (教授 佐藤 陽一, 助教 長崎 裕加)

youichi.sato@tokushima-u.ac.jp 088 - 633 - 7253

nagasaki.yuka@tokushima-u.ac.jp 088 - 633 - 7266

- 1) 医薬品適正使用に向けた疫学的研究
- 2) ゲノム情報に基づいた個別化医療の実現に向けた研究
- 3) 男性不妊症原因遺伝子の同定と治療法の開発研究

薬物動態制御学分野 (教授 石田 竜弘, 准教授 安藤 英紀)

ishida@tokushima-u.ac.jp 088 - 633 - 7260

h.ando@tokushima-u.ac.jp 088 - 633 - 7259

- 1) 生体機能に立脚した新規ドラッグ・デリバリー・システム (DDS) の開発
- 2) 薬物の体内動態・細胞内動態制御による新規治療システムの構築
- 3) ナノ DDS デバイスのリスク・安全性の評価とその対応策に関する研究
- 4) DDS 技術を利用した新規バイオ医薬品の開発と実用化に関する研究
- 5) 独自開発したナノ材料を用いた医用応用に関する研究

神経病態解析学分野 (准教授 笠原 二郎)

awajiro@tokushima-u.ac.jp 088 - 633 - 7278

- 1) 神経変性疾患の分子生物学的病態解析と薬物療法
- 2) 脳梗塞 (虚血性脳疾患) の病態解明と薬物療法
- 3) 細胞内シグナル伝達機構と中枢神経機能の関わり
- 4) 気分障害とその治療薬作用の分子機構および予防法の研究

医薬品機能生化学分野（教授 土屋 浩一郎，助教 今西 正樹）

tsuchiya@tokushima-u.ac.jp 088 - 633 - 7250

imanishi@tokushima-u.ac.jp 088 - 633 - 7252

- 1) 生体内酸化ストレス評価法の開発と診断，治療への応用に関する研究
- 2) 硝酸塩，亜硝酸塩の生理的役割の解明に関する研究
- 3) 血管構成細胞とがん細胞との相互作用に関する研究
- 4) がん組織における低酸素応答に関する研究
- 5) 抗がん剤治療が血管に与える影響に関する研究

医薬品病態生化学分野（教授 山崎 哲男，助教 片山 将一）

tyamazak@tokushima-u.ac.jp 088 - 633 - 7886

s-katayama@tokushima-u.ac.jp 088 - 633 - 7256

- 1) タンパク質凝集体難病の病態解明と治療法開発
- 2) 小胞体マニピュレーションの分子機序解明と治療応用
- 3) 小胞体マニピュレータードラッグの探索
- 4) 遺伝性神経変性疾患の病態解明と治療法開発

臨床薬学実務教育学分野（教授 阿部 真治，助教 佐藤 智恵美，助教 川田 敬，
助教 山本 高成）

ashinji@tokushima-u.ac.jp 088 - 633 - 7562

sato.chiemi@tokushima-u.ac.jp 088 - 633 - 7562

kawada.kei@tokushima-u.ac.jp 088 - 633 - 7562

yamamoto.takaaki@tokushima-u.ac.jp 088 - 633 - 7562

- 1) 悪性腫瘍に対する新規抗体医薬の開発研究
- 2) システムティックレビューおよびメタ解析に基づく医薬品の有効性・安全性の評価研究
- 3) 社会ニーズに即した薬剤師養成の新規手法構築に関する教育研究

臨床病態学分野（教授 井崎 ゆみ子）

予防医学及び疾病の早期発見早期治療に関する研究を行う。

- 1) ストレス，生活習慣に関連する疾患の予防と早期発見
- 2) 情報技術を用いた効率的健康管理方法の研究
- 3) 精神疾患の早期発見，早期対応に関する研究

創薬科学専攻博士後期課程

有機合成薬学分野（教授 難波 康祐，講師 Karanjit Sangita，助教 佐藤 亮太）

namba@tokushima-u.ac.jp 088 - 633 - 7293

karanjit@tokushima-u.ac.jp 088 - 633 - 7294

rsato@tokushima-u.ac.jp 088 - 633 - 9538

- 1) 複雑な微量生物活性天然物の全合成研究
- 2) アルカリ性不良土壌の緑地化研究と鉄イオン吸収メカニズムの解明研究
- 3) 作用機序機能解明ツールの開発
- 4) 新規触媒反応の開発

分析科学分野（教授 田中 秀治，准教授 竹内 政樹）

h.tanaka@tokushima-u.ac.jp 088 - 633 - 7285

masaki.takeuchi@tokushima-u.ac.jp 088 - 633 - 7286

- 1) 流量変化を利用するフロー分析法（振幅変調多重化フロー分析法，フィードバック制御フローレイシヨメトリー）
- 2) 画像撮影・測色法に基づくフロー分析法
- 3) オンライン濃縮装置の開発
- 4) 越境大気汚染物質モニタの開発
- 5) 水環境汚染物質測定装置の開発
- 6) フロー分析法の自動化のためのソフトウェア開発

生物有機化学分野（教授 南川 典昭，准教授 田良島 典子，特任助教 月本 準）

minakawa@tokushima-u.ac.jp 088 - 633 - 7288

noriko.tarashima@tokushima-u.ac.jp 088 - 633 - 9539

- 1) ヌクレオシド・ヌクレオチド・オリゴヌクレオチドの化学
- 2) 有機化学的・進化分子工学的手法による人工核酸の創製と核酸医薬への展開
- 3) 人工核酸の活用による生体反応や機能の解明
- 4) 環状ヌクレオチド類を基盤とした医薬化学研究
- 5) 人工核酸を活用する mRNA 医薬の高機能化

薬品製造化学分野（教授 山田 健一，講師 猪熊 翼）

yamak@tokushima-u.ac.jp 088 - 633 - 7281

tinokuma@tokushima-u.ac.jp 088 - 633 - 9532

- 1) 高反応性活性種の制御に基づく新規分子変換法の開拓
- 2) 活性種の特性を活かした高官能基選択的な変換反応の開拓
- 3) 不斉触媒の分子設計と触媒的不斉合成法の開拓
- 4) 生物活性評価を指向した非天然有機化合物の化学合成
- 5) 生体関連分子の新規精密有機合成法開発

創薬理論化学分野（教授 立川 正憲, 助教 稲垣 舞）

tachikaw@tokushima-u.ac.jp 088 - 633 - 7257

inagaki.m@tokushima-u.ac.jp 088 - 633 - 9527

- 1) 脳関門輸送機構に基づく難治性中枢疾患治療薬の分子設計
- 2) ヒト胎盤関門輸送機構の解明に基づく周産期疾患の治療法と妊娠期の薬物投与設計法の開発
- 3) マイクロ流体モデルに基づくヒト生体関門の再構築と疾患薬動力学研究への応用
- 4) 中・高分子脳関門突破機構の解明と人工細胞への挑戦
- 5) 薬物の細胞レベルでの時空間分布精密制御法の基盤構築

生薬学分野（准教授 田中 直伸）

ntanak@tokushima-u.ac.jp 088 - 633 - 7275

- 1) 新規天然物質の探索研究及びその生物活性に関する研究
- 2) 各種生物活性天然物質の化学的修飾と構造活性相関に関する研究
- 3) 地域特産品や未利用天然資源の有効利用に関する研究
- 4) 繁用重要生薬の化学的再検討
- 5) 民族薬物に関する調査とその医薬資源としての科学的評価に関する研究

天然物創薬学分野

分子創薬化学分野（教授 佐野 茂樹, 講師 中尾 允泰）

ssano@tokushima-u.ac.jp 088 - 633 - 7273

mnakao@tokushima-u.ac.jp 088 - 633 - 7272

- 1) ヘテロ環化合物の分子構造特性を活用する機能性分子の創製
- 2) ヘテロ原子の特性を活用する高立体選択的反応の開発
- 3) ヘテロ環化合物合成を基盤とする医薬品・農薬素材の探索
- 4) ヘテロ原子の特性を活用する蛍光標識剤の創製

生命薬理学分野（教授 藤野 裕道, 助教 福島 圭穰）

hfujino@tokushima-u.ac.jp 088 - 633 - 7263

keijo.fukushima@tokushima-u.ac.jp 088 - 633 - 9528

- 1) 薬物受容体の情報伝達調節機構に関する研究
- 2) ガンなどの病態へのプロスタノイド受容体の役割の解析
- 3) リガンドのバイアス性の生理的意義の解明
- 4) ビッグデータを用いた病態と受容体のシグナル解析

機能分子合成薬学分野（教授 大高 章, 助教 傳田 将也）

aotaka@tokushima-u.ac.jp 088 - 633 - 7283

denda.masaya@tokushima-u.ac.jp 088 - 633 - 9534

- 1) 生体機能探索分子の設計と合成
- 2) 生体機能探索分子創製のための方法論の開発
- 3) ペプチド・タンパク質化学先導型ケミカルバイオロジーの開拓
- 4) ペプチド・タンパク質修飾反応の開発

衛生薬学分野（教授 小暮 健太郎, 准教授 山崎 尚志, 助教 米田 晋太郎）

kogure@tokushima-u.ac.jp 088 - 633 - 7248

nyamazaki@tokushima-u.ac.jp 088 - 633 - 9516

yoneda.s@tokushima-u.ac.jp 088 - 633 - 9515

- 1) 微弱電流による細胞生理の制御メカニズムの解明
- 2) ビタミンE誘導体を基盤とした安全な抗肥満薬の開発
- 3) ナノ粒子を利用した新規脳梗塞治療法の開発
- 4) 改変 U1 snRNA 分子による遺伝子発現制御法の開発
- 5) RNA 編集メカニズム解明とその制御法に関する研究

総合薬学研究推進学分野（准教授 大井 高）

takashiooi@tokushima-u.ac.jp 088 - 633 - 7289

- 1) 海洋生物からの医薬資源の単離, 構造決定
- 2) 海洋環境化学（海洋生物のエコロジカルサイエンス）

生物薬品化学分野（教授 篠原 康雄（先端酵素学研究所））

yshinoha@genome.tokushima-u.ac.jp 088 - 633 - 9145

- 1) 生体エネルギー産生機構と薬物の作用
- 2) 褐色脂肪細胞に特徴的なエネルギー代謝系の解析
- 3) ミトコンドリアのタンパク質の構造と機能

（連携講座）

薬物応答制御学分野（客員教授 大西 敬人）